



JAZA将来構想2025

JAZA's Future Vision 2025

2024年5月

公益社団法人 日本動物園水族館協会

これから10年の「JAZA将来構想2025」策定の背景

■ JAZAの目的（使命）

JAZA（日本動物園水族館協会）の定款 第3条に、「この法人は、動物園、水族館事業の発展振興を図ることにより、文化の発展と科学技術の振興並びに自然環境の保護保全に貢献し、もって人と自然が共生する社会の実現に寄与することを目的とする。」と規程されています。**環境保全に貢献、人と自然の共生社会実現に寄与** という目的は、将来構想策定の前提条件になります。

■ 2013年「10年ビジョン」の検証

2013年にJAZAは「10年ビジョン」を掲げ、「いのちの博物館」の実現をめざし、動物福祉や種の保全活動に取り組み、多くの成果をあげることができました。

ただ残念なことに、この「10年ビジョン」は、動物園・水族館の関係者にも十分に浸透しなかった一面があります。それは、JAZAの活動方針や姿勢にも問題があったのかもしれませんが。次期10年の将来構想は、加盟園館の職員ひとりひとりが主体的に策定にかかわり、一丸となってJAZAの将来を考えられるよう進めていきます。

■ 動物園・水族館を取り巻く外部環境の変化

この10年で外部環境も大きく変わりました。私たちは、気候変動や大規模な自然災害、戦争や紛争、パンデミックなど、地球規模の危機に直面しています。

社会環境も「ものの豊かさ」から「心の豊かさ」へと価値観が大きく変わりつつあります。2015年の国連サミットで採択されたSDGs以降、健康、福祉、平等、多様性などの重要性が再認識され、持続可能な開発から脱成長、ウェルビーイング（持続的に健康かつ幸福でよりよい状態）へとパラダイムシフトが起ころうとしています。また、自然との共生社会や持続可能な社会をつくりあげるために、山川草木にも魂が宿ると信じたアジア的な哲学や精神世界にも関心が高まっています。

こうした中、地球環境や生物多様性の保全、個々の生きものの状態の向上をめざしていくために、世界的に動物園・水族館の役割を見直す動きも出てきています。

■ 次期「将来ビジョン」の策定方針

JAZAでは、こうした地球環境や社会環境の変化に対応し、動物園・水族館の存在意義を高めることができるよう、日本の伝統的な考え方を大切にした「動物園・水族館の将来ビジョン」を策定し、それに基づく「JAZAの将来ビジョン」の策定を目指します。

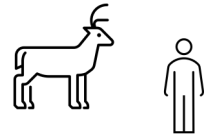
JAZAが考える「動物園・水族館の今後のあるべき姿」

動物園・水族館の将来ビジョン

動物園・水族館は、個々のすべての生きものから地球環境まで、あらゆるウェルビーイングが確立された世界をめざします。

JAZAでは、「ウェルビーイングとは、人を含むすべての生きものだけでなく、個々を取り巻く環境や地球全体も持続的によりよい状態にあること。」と定義します。

1. 動物園・水族館のすべての生きものと、関係するすべての人々の
個々のウェルビーイング向上に取り組む



2. 動物園・水族館が立地する地域の社会や環境のウェルビーイング向上に
寄与する



3. 地球環境や生物多様性の保全を推進し、地球全体のウェルビーイング
の向上に貢献する



この「動物園・水族館の将来ビジョン」は、JAZAが考える10年～30年後の個々の動物園・水族館のあるべき姿です。地球規模の課題解決に向けて、動物園・水族館が社会から期待されている大きな役割を示すものであると考えています。

加盟園館には、これまで掲げてきた動物園・水族館の4つの役割である「保全・教育・調査研究・レクリエーション」や、各園館の使命や活動方針を継承しつつも、この「ビジョン」を将来の大きな目標として位置づけ、達成に向けて積極的に取り組んでもらいたいと願っています。

JAZAの将来ビジョン

JAZAは、国内のすべての動物園・水族館が将来ビジョンを達成できるよう支援し、牽引する組織として、多様な関係者との連携・協働により、動物園・水族館業界の持続的成長・発展に取り組んでいきます。

JAZAのアクションプラン（計画期間：5～10年）

JAZAは、将来ビジョンを達成するために
各園館でのウェルビーイング向上のための取り組みを支援します。

1-1. 園館の生きものたちのすべてのウェルビーイングの向上（Animal Well-being）

- 飼育下の生きもののウェルビーイングを考え、最適な動物福祉（アニマル・ウエルフェア）が実践できるよう、園館を支援します。
- 生きものたちを深く理解するための調査研究を、動物園・水族館のすべての活動の基盤と位置づけ、これに関する園館の活動を支援します。
- 動物園・水族館全体の専門性の向上を図るために、技術継承と人材育成のプログラムを強化します。
- 科学的・専門的な知見と技術の集積につとめます。 等

1-2. 園館に関わる人々すべてのウェルビーイングの向上（Human Well-being）

- 動物園・水族館の利用者への自然体験や安らぎ、癒やし、愉しみ、感動などの提供により、ライフスタイルの再創造（リクリエーション）や情操育成などに資することができる豊かな環境を整備できるよう、園館を支援します。
- より多くの人々が、地球環境や生物多様性の保全の重要性に気づくことで行動変容を起こすきっかけとなり、科学的・専門的な知識を楽しく学べる、社会教育の場／ミュージアムとして動物園・水族館が活動できるよう支援します。
- 動物園・水族館で働く人々や協力者の皆さんのウェルビーイングが向上するよう、良好な労働や活動のための環境整備を支援します。
- 動物園・水族館という組織体が継続的かつ健全に経営・運営されるよう支援します。
- より多くの人に、動物園・水族館の存在意義とJAZAの価値を周知していくために、評価や広報の活動を強化します。 等

2. 地域のウェルビーイングに寄与（Social Well-being）

- 動物園・水族館が市民と共に、地域の生物多様性保全に貢献できるよう、多様な保全の取り組みを支援します。
- 地域の皆さんが世代を超えてウェルビーイングを実感できるよう、動物園・水族館が地域の価値を高めていく活動を支援します。 等

3. 地球全体のウェルビーイングに貢献（Planetary Well-being）

- 動物園・水族館が、その活動を通して人々の行動変容を引き起こすことで、地球環境や生物多様性の保全に貢献できるように支援し、すべての生きものが将来にわたって暮らしていけるよう、社会の変革に取り組んでいきます。
- 動物園・水族館が地球上の自然環境と生物多様性の保全のために推進する活動を積極的に支援します。 等